

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者様が、楽しく活動に参加できる、スペースは確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			定員10名の利用者様に対し3~4名の支援員を配置出来ている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			手すりの位置にも配慮し車いすの利用者様でも過ごせるスペースとなっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			月に1度事業所会議を行い、計画月の利用者様の支援計画の振り返りをしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に1度アンケート等を実施し、保護者様の要望・意見を把握し業務改善に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			令和元年度より実施している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後検討していこうと思っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		コロナ過で外来研修への参加が難しいため、社内研修の充実を図り、職員の資質向上に繋げている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			必要であれば、随時家庭支援を行いニーズや課題を把握した上で計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		より良い書式を検討し実施していきたいと思っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			基本的には、1週間の活動内容は決まっている為そのプログラムに沿って楽しめる内容を計画して
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			公園・ドライブ等の行き先を工夫し、固定化されないようにしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個々の個別目標を決め、午前中を中心に課題に取り組んでいる
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		放課後活動時に関しては、集団活動後の個別活動支援は見守り支援が主となっている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援準備前に、その日の予定を職員間で確認し、利用者支援に関する引継ぎを行っている
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	緊急の場合は、連絡を取り合い対応している。支援の振り返りについては、翌営業日の支援準備前に職員間で行っている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			家庭での状況等も支援記録の備考欄に記入し支援の検証・改善に繋げていく。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			最長でも半年に1度のモニタリングを行っている 必要に応じて随時見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			基本活動を組み合わせながら、個々に必要な支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			基本的には、児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			コロナ過のため放課後等支援機関連絡会 は行われていない。必要な情報は学校から のお手紙やお迎え時等に共有し、情報交換 を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在は、医療的ケアを必要とする利用者はいない為、行っていないが必要であれば、検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援員を通して情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			障がい福祉サービス事業所等の移行先から依頼があれば情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	コロナ過のため他機関との連携や研修には参加できていない。今後は定期的な連携を取れるよう取り組んでいきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			公園遊び等所外活動での関わり、交流が深められるよう、支援している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			法人内職員が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時又は電話にて、保護者様と直接連携をとり、共通理解をはかっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			家庭支援を通して、ペアレントトレーニング・相談・助言等の機会をもらっている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、契約変更時、書面、口頭での説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			家庭支援時や日々の連絡ノートにて保護者様との連携を取り、相談等にお答えしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、父母の会等に関する具体的な支援活動は行っていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応マニュアルを元に迅速に対応する様、努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			「ひるかおたより」「ぎららニュース」を定期的に発行し、連絡事項・情報の発信をして
	35	個人情報に十分注意しているか	○			職員に対して守秘義務の徹底を促している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々の状況に応じて対応させて頂いている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			コロナ過のため、昨年は中止させていただきましたが、「おもつき大会」を実施するなど地域の皆様との関わりを深められるようにしている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアルは保護者様にも配布しており、その他の感染症対応マニュアル、防犯マニュアルは事業所で保管し職員への周知を図っている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		長期休みを利用し、年に2回～3回実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			昨年度、虐待・身体拘束防止委員会を発足し、委員会を中心に社内研修を実施することで職員間での情報共有に取り組んでいる
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			虐待・身体拘束防止委員を中心に事業所会議を行い、必要な利用者様には「緊急やむを得ない身体拘束」について説明し同意を頂き、個別計画書に記載している。また半年に一度経過観察し再検討をしている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在、該当する利用者様はいないが、保護者様と連携をとリアレルギー食材を完全に除去し対応している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			安全委員を中心として、月に1度事業所会議で共有している。